

しんこいわ

第51号

事務局

新小岩区民サービスコーナー

新小岩 2-17-1

Tel. 3653-7141

Fax. 5698-1521

葛飾区青少年育成新小岩地区委員会

愛の街頭 ひとと声運動

青少年育成新小岩地区委員会会長

石井 なが子

平成16年から開始された新小岩地区の「犯罪から子どもを守る街の取り組み」活動は、私ども青少年育成新小岩地区委員会等七つの推進団体の協力により、大きな成果を挙げ、地域内の犯罪もかなり減少して来ております。

この活動の原点となっているのは、新小岩地区委員会の活動の中でも約五十年にわたり継続して来ている「街頭ひとと声運動」です。今回、この活動について改めて考えてみたいと思います。

この活動が開始された時期・いきさつ等は、残念ながら全く不明です。昭和三十二年に青少年問題協議会の下部組織として、青少年対策委員会（現育成委員会）が設置されています。

当時警察では、青少年犯罪防止の策として「ひとと声運動推進員」という制度が発足し、個人への委嘱と同時に、地区委員会へも協力要請がされたと推測されます。



葛飾防犯協会会長 南 克巳

昭和50～60年代の新小岩地区は、アーケード街は多くの人でにぎわうと共に、ゲームセンター・パチンコ店が急増し、街全体が落着かない、まさに「有害環境」そのものでした。この地域の環境浄化を図り、子ども達が健全に育つ街を目指して、街頭ひとと声運動は多数の地区委員によって継続されて来ました。また地区内小・中学校生活指導の先生、校外部員の方も活動に参加されて、より充実した活動が実施されて来ている。

最近、青少年の犯罪も低年齢化し、薬物乱用・暴力行為・殺傷事件等多様化して来ております。私ども地区委員の子どもの守る活動もますます重要になることを認識せざるを得ません。地道に、しっかりと、先人の残した有意義な活動を継続し

毎月第三土曜日午後二時、駅前交番横に集合、腕章を付け地区内パトロールを行う「街頭ひとと声運動」。この活動には小学校PTAの頃から長い間かかわって来ました。

地区委員会会長在任中には、繁華街やゲームセンターに集まる青少年に目を配り、また有害図書の設定場所の撤去要請を積極的に行う等、非行防止と地域の環境浄化活動に力を注ぎました。

て参りたいと思います。

最後に、保護者の皆様にお願ひします。お子さん達を一人でゲームセンターへ行かせないで下さい。小・中学生は、単独でのゲームセンターへの立入は学校でも禁じられているはずですが、しかし、街頭ひとと声運動のたびに何人かを見かけ注意することが多くなりました。

ゲームそのものが悪い訳ではありませんが、何か事件に巻き込まれてからでは手遅れです。お子さんの身を守るため、是非注意して下さい。

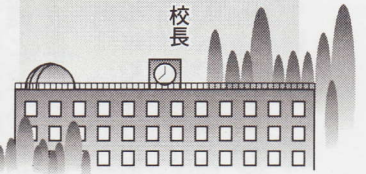


この活動は、葛飾警察少年係官との連携・指導のもとに実施され、特にパトロール後の反省会で報告される犯罪の事例等を聞くことは参加者にとって得難い経験になったと思います。

多発する犯罪を防止するためには地域・学校・警察が連携を強めて対処する必要があります。地域安全活動の一環である「街頭ひとと声運動」の継続を、葛飾防犯協会会長として今後も応援して行きたいと思っています。

学校を開く

葛飾区立小松中学校 校長
村田 芳江



近年、社会は学校が教育内容を積極的に公開し、説明責任を求めています。その背景には、地域や保護者と学校との繋がりがかつてよりも薄くなり、相互交流や相互理解の不足にも因があるように思われます。

開校六十周年を迎えるにあたり各節目の記念誌を組解けば、保護者・地域・卒業生・学校とが、一体となった取り組みを展開していることが理解できました。校地の整地、教室環境の整備、運動会は地域を挙げての一大イベントでした。その頃に、学校の説明責任や公開を訴えていたのでしょうか。いつも学校が地域文化の中心であったように思われます。それぞれの立場の人々が、「子どもの健全育成」を考え、役割をしっかりと担っていたように思われます。学校は不透明で、教育活動を隠している、と言われ初めてから、地域コミュニティが崩壊した、家庭の教育力が低下した、と報道され始めています。私は、文書をもって説明をすることばかりが説明責任を果たしているとは思いません。かつてのように、「子ども達のために、周囲の大人が何をするか」を考え、一つの目標に向かって各自の役割を果たし、力を結集したときにこそ、相互理解が進むものと考えます。



犯罪から子どもを守る取り組みが始まって5年が経ちます。この活動は、子ども達から被害にあった状況のアンケートを元に作成された地図の場所を大人がみて歩き改善していくものです。

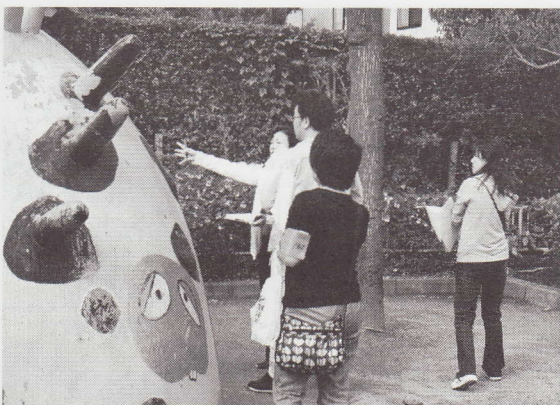
(見て歩くワークショップ)

新小岩地区委員会の石井会長は、この取り組みを委員会活動の中で行うことが出来るのではないかと考え、"街頭ひと声運動"と連携して実施、毎年10月にワークショップが行われています。参加者は、小松南小、小松中のPTA、教職員、地域の方々、地区委員と新小岩に住む皆さんはもちろんですが、区の職員、警察の方も来ていただき、90名程で危険箇所を歩き、どこをどのように改善したらよいか話し合います。その結果をもとに行政との懇談を行い、改善できるかどうか考えていきます。中には改善が無理なものもあったりします。しかし、一番身近に出来るのは、住人の目です。子ども達を見守る目はとても大きな役割を果たしてきました。パトロール、あいさつ、清掃活動、門灯をつけるなどの個々の活動が犯罪の減少に結びついたのです。

ワークショップの取り組み

青少年育成新小岩地区委員会 事業部長 緑川 みどり

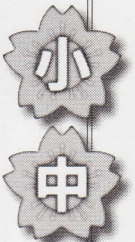
犯罪から子どもを守る取り組みは、子ども達を守るのはもちろんですが、安心して住める街づくりにも繋がっています。



犯罪発生地点の調査活動

小中一貫教育校 開校に向けて

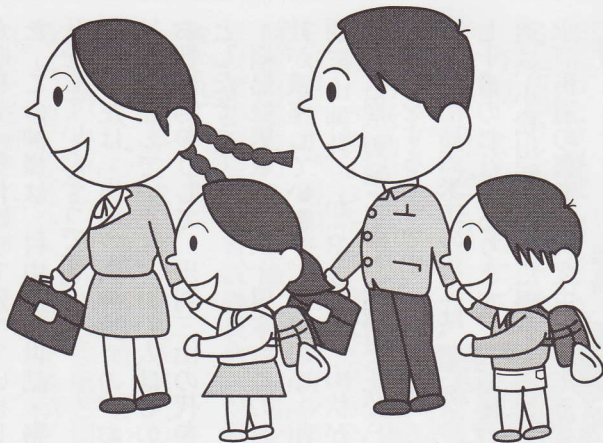
葛飾区立新小岩中学校 校長
佐藤 克芳



ご承知のように、松上小学校と新小岩中学校は『小中一貫教育推進モデル校』として研究を進め、平成二十三年四月の小中一貫教育校開校を目指して準備中です。その進捗状況をご紹介します。

今まで、中学校の生徒総会見学、運動会や文化祭等での相互交流、中学校の数学科教員による小学校への出張授業、小中学校の全教員による合同研修会等々、様々な連携を実践してきました。また、昨年十月には小中学校の全教員が関わる作業部会を組織しました。

その一つ、全教員で組織する『学力向上部会』では、小中の教員が互いに授業参観を行い、子どもの実態や指導の在り方等を検討しています。また、『生活指導部会』では、担当教員が集まり、アンケート調査などを基に、小中学校の生活指導の実態や違いなどを確認しながら指導の在り方等を研究しています。さらに、『特別活動部会』では、学校行事や部活動などを中心に、交流の充実・拡大に向けて検討を進めています。なお現在、両校の間に校長室と職員室が入る管理棟を建設中（写真）です。夏休み頃には引越す予定です。



今後、九年間の指導計画などの検討を進め、子ども達にとって最も良い一貫校の実現を目指して取り組みで参りますので、ご支援をよろしくお願いします。



両校の間に建設中の管理棟

委員会研修会に参加して

青少年育成新小岩地区委員会 広報部

鈴木 陽子

昨年より地区委員会のメンバーとさせて頂き、二月七日の研修会に初めて参加しました。当日は晴天に恵まれ、各町会の役員の方々も含め三十四名が参加しました。バスの中では「小松中学校の一年間」のDVDを先生の解説付きで見ることができ、子ども達の元気で真剣な様子がよく分かりました。

茨城県に入り、キリンビアパークなど三施設を見学。環境に優しい様々な取り組みを学ぶ事ができました。また、筑波山から見た茜色の空に浮かぶ富士山と関東平野の夜景にも感動しました。

新小岩の宝である子ども達のため、少しでも携わっていただけると思われ、研修会となりました。



研修会参加の皆さん

青少年育成新小岩地区委員会賛助会員名

JA東京スマイル奥戸支店
葛飾法人会・新小岩支部
学習塾・共修学院
総武自動車教習所
新小岩青年連合

進学・補習・小学生英会話・山崎塾
マクドナルド 新小岩店
大森義明・会計事務所
株式会社 佐藤工務店
株式会社 田辺工務店

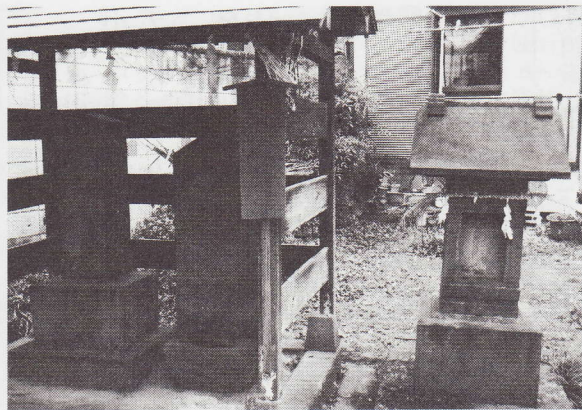
新小岩 昔むかし (4)

◎下小松村の小さな神社

福島酒米店（新小岩三・十二、十三）の隣に、三つのお社が祭られているのをご存知ですか？

一番右が青梅の「御嶽山神社」です。150年以上前からこの神社に注連縄を奉納しているのが「御講」です。講元の三田孝代司さんを中心に、お世話をしています。

真ん中が「道祖神」です。この神様は、村の地境に鎮座して、悪しき事が村に入り込まない様、村人の安



左から出羽三山神社、道祖神、御嶽山神社

全を祈って、お守りしています。下小松村に嫁入りする時は仲人さんと一緒に、お参りして一生この地で添い遂げられる様に、願を掛ける風習

◎平成20年度事業報告

平成20年	5月 4日	新小岩ふれあいまつり手伝い
	5月 21日	地区委員会総会
	6月 16日	新小岩公園 スポーツ広場管理運営委員会
	7月 5日	青少年育成区合同研修会参加
	7月 24日	社会を明るくする運動 区民大会参加
	8月 7日	地区委員会研修会
	8月 31日	ナイスディキャンプ開催
	10月 11日	新小岩地区ワークショップ開催
	10月 13日	葛飾区スポーツフェスティバル参加
	10月 18日	少年の主張大会地区予選会開催
	10月 25日	ロードレース大会開催
	11月 22日	少年の主張大会本大会参加
平成21年	11月 24日	新小岩伝統芸能祭手伝い
	2月 8日	地区委員会研修会開催

◎広報紙“しんこいわ”／年2回発行

◎小松中学校あいさつ運動／20年4月～21年3月

◎街頭ひと声運動／20年6月～21年3月

◎新小岩郷土資料室担当／20年4月～21年3月



小松中学校体育館内で開催されたワークショップより

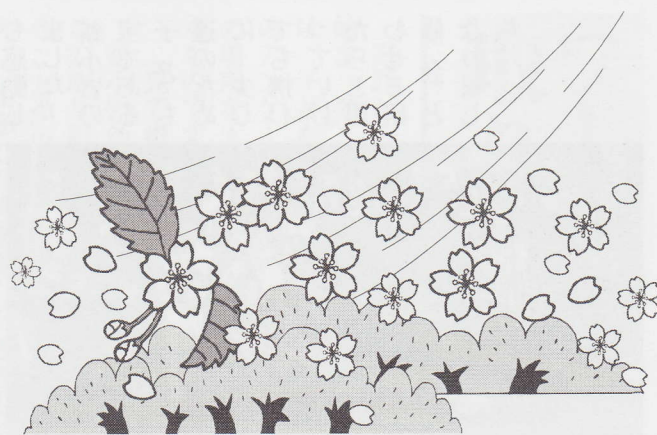
が昭和二十年代頃まで残っていました。この神様は、村中でお世話・奉仕をしていたそうです。

その左は「出羽三山神社」の、お社が鎮座しています。村の人はこのお社に御参りして、出羽三山の代参としたそうです。

福島稔男家、堀八十男家もこのお社が鎮座しています。節分の頃「出羽三山神社」から、神主、山伏が十五人程、両家に来て、法螺貝を吹き、お祓いをするそうです。

また福島酒米店の角には、「大師堂」七十番のお社があります。この前の道は、小松川新道・帝釈道とも呼ばれ、水戸街道の裏道で大変古い道だそうです。

福島 孟氏（談）



お知らせ

葛飾区こどもまつり

平成21年4月26日（日）

水元公園の宏大な広場で様々なスポーツ、ゲームが楽しめます。

新小岩地域ふれあいまつり

平成21年5月3日（日・祭）

新小岩公園で行われる地域の最大イベント。歌や踊り、演奏の他、子ども達の楽しめるスポーツやゲーム、各町会の出店など盛り沢山。ご家族で一日遊べます。

ナイスDayキャンプ

平成21年8月30日（日）予定

新小岩公園にテントを張り、小学一年から六年の子ども達を中心に中学生、高校生、PTA、地区委員会が協力します。

編集後記

街の通りや広場から子ども達の歓声が消えてから随分久しくなります。かつての広場は住宅や店舗になり、通りは車が疾走し、公園でさえ安全な場所とは言えなくなっています。

子ども達の歓声は、今、小・中学校の放課後に校庭や体育館で聞く事ができるようになりました。小学校では地域の大人達がサポーターとなつて見守っています。「犯罪から子どもを守る取り組み」が広がっています。歓声をあげている子ども達の成長が楽しみです。

宮澤 記